

# THE UKI NEWSLETTER

## 立地適正化計画を策定、都市計画マスタープランを見直し 現状の課題を踏まえ新計画を作成します



市民の皆さんと一緒に  
未来の「まち」を考えました

市では、「立地適正化計画」、「都市計画マスタープラン」という2つのまちづくりの計画の策定・見直しに取り組んでいます。  
ここに市民の皆さんの意見を反映させるため、8月2～4日に市内各地で市民ワークショップを開催。3日間で30人が参加しました。  
このワークショップの成果を踏まえ、地域の特徴などをまとめて、「都市計画マスタープラン」の「地域別構想」を策定します。



ワークショップ  
自体初体験でした。  
市民に理解され、より  
参加しやすくなればい  
いと思います。

最初はとても  
緊張しましたが、  
楽しく参加できました。  
勉強になりました。

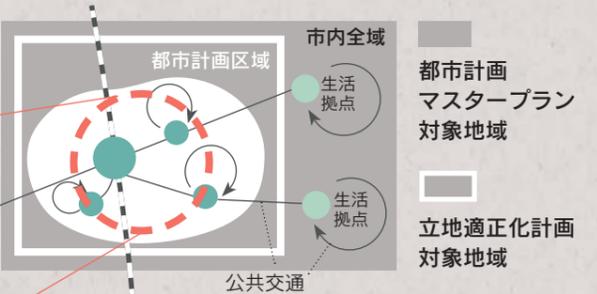
参加者が居住する、それぞれの地域の良さや問題点について語り合い、地域独自のメリットや課題を抽出。「10年後の姿を考える」をテーマに地域のキャッチフレーズも考えました。

### 2つの重要な計画

市では、平成7年以降人口は減り続け、平成22年～27年には5年間で2122人減少。しかし、65歳以上は増えていて、少子高齢化が進行中です。これに加え、路線バスや乗合タクシーなど、都市交通の利用者も減少しています。  
この課題に対応するため作成するのが2つの計画です。  
平成21年に策定し、市全

域の都市計画の基本的な方針を定めた「宇城市都市計画マスタープラン」。持続可能なまちづくりを進めるため、今年度中の改定を目指し、準備を進めています。同時に、特定の地域のみが対象で、マスタープランの高度化版といわれる「宇城市立地適正化計画」の策定にも取りかかっています。作成した両計画は、来年1月頃に公開し、皆さんの意見を反映させながら策定していく予定です。

### 両計画のイメージ



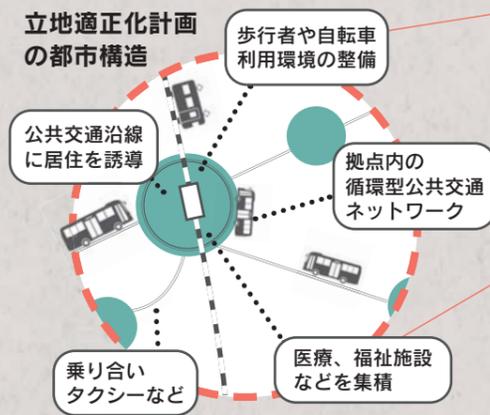
### 都市計画マスタープランと立地適正化計画

都市計画法で定める「市町村マスタープラン」として作られた同プラン。都市として発展するための課題に対応し、市全体のあるべき姿とその実現に向け、まちづくりの方針を示す総合的な計画である。

一方、立地適正化計画は、都市計画区域内の一部区域が対象。健康で快適な、安心できる生活環境を整えるだけでなく、財政面・経済面でも持続可能なまちの都市構造を形成するための計画である。

	都市計画 マスタープラン	立地適正化計画
対象区域	市全域	都市計画区域の一部
計画の役割	より良い都市への発展に必要な総合的な取り組みを掲載	人口が減少しても都市を維持し続けられる対策を掲載
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>★目指す都市の姿と目標</li> <li>★市全体のまちづくり</li> <li>★地域ごとのまちづくり</li> <li>★実現化するための方策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★まちづくりの方針とターゲット設定</li> <li>★目指す都市の骨格構造</li> <li>★誘導する区域と施設の設定</li> <li>★誘導するための具体的施策</li> <li>★防災・減災の指針</li> </ul>

### 立地適正化計画の都市構造



#### 都市機能誘導区域

生活サービスを維持・誘導するエリアやそこに維持・誘導する施設を設定  
★医療・商業などの立地促進  
★区域外の都市機能を緩やかにコントロール  
★歩いて暮らせるまちづくり

#### 居住誘導区域

人口密度を維持するエリア  
★居住環境の向上  
★区域外の居住を緩やかにコントロール  
※区域外の一定規模以上の新たな住宅開発は、届け出が必要



白熱の試合展開に、観客も熱中

サッカークラブ「eFootball 2022」で競い、参加者13人は実在するチームを選択して選手を巧みに操作。買い物客らが見守る中、激しい攻防戦を繰り広げていました。  
他にも、解説者の平岡和徳教育長（大津高校サッカー部総監督）と高校生らによるPK対決や、eスポーツ体験会なども行われ、多くの家族連れがeスポーツの魅力に触れました。

### eスポーツ選手権 in UKI を初開催

全国都道府県対抗eスポーツ選手権の熊本県予選が7月18日、イオンモール宇城で行われました。多世代交流やDXを推進する市やイオンモール（株）、（一社）熊本eスポーツ協会が連携し、初開催です。

参加者が考えた地域のキャッチフレーズ

三角地区のワークショップで作成したシート。各色の付箋は地域の現状を示す。

魅力的、生活しやすい点  
……青色

課題・問題点  
……赤色

他地区やワークショップの内容はこちら

**三角地域 ①**  
海・山・風・人  
ゆつくり暮らす  
子育て・お年寄りにやさしく

**交通**  
バスが不便  
熊本市・宇土市等程良い距離である  
交通アクセスが良くない(高速より遠い)  
道幅がせまい所がある

**農業**  
イノシシこわい  
イノシシアナグマの増加  
耕作放棄地が増加している  
新規就農者の受け入れ  
みかんがおいしい  
通年で採れる野菜が少ない  
年間通しての農作物が少ない  
登山道の草刈りしてる  
大岳山  
ウォーキングのコースも色々楽しめる  
黒ざとう作り

**自然**  
自然が美しい山、海、空  
自然に囲まれている  
三角が一番高い山  
事故が多い  
サイクリングロードの整備

**子育て**  
子どもが遊べる遊具がない整備されていない  
子どもが遊べる施設がない  
子ども達のスポーツクラブがない  
保育施設待機児童はいない  
保護者の送迎できないと通学できない地域がある  
高校通学が不便  
消防署の前が沈む  
ホテルの里  
都浦神社

**三角駅・三角東港**  
お酒を飲む場所が少なくなった  
フリーマーケットなどの誘致  
駅前公園の良利用方法(スポーツイベント等)  
スーパーが1軒しかない  
雨・悪天候で止まるJR  
夕日美しい

**海水浴場**  
若宮海水浴場の施設をもう少し整備してほしい  
BBQが若宮で出来る  
若宮トイレよくないOFFシーズン

**各種施設**  
喫茶店、集客施設が少ない  
耳鼻科がない  
職場がない  
小児科がない  
老健施設多い  
リハビリ施設は少ない？  
図書館がキレイ静か  
空き家が多い

**その他**  
公共交通安全沿線に居住を誘導  
歩行者や自転車利用環境の整備  
拠点内の循環型公共交通ネットワーク  
乗り合いタクシーなど  
医療、福祉施設などを集積